

## プロジェクト科目

---

### プロジェクト科目 A

2027年度開講・選択・2単位

Research Project A

担当教員

---

#### 履修制限等

履修希望者が課題の定員を超えた場合は調整をおこなうことがあります。

#### 授業の目的と到達目標（学修成果）

実践的課題に対して専門分野をこえて共同して取り組むことにより、調査分析力、創造的アプローチを見つける柔軟性、多様な人々とのコミュニケーション力を修得し、アートおよびデザインの専門性を高める。

専門分野が異なるメンバーと協力し、分野を超えた構想力を体験的に習得することができる。

#### 授業計画の概要

グローバルな変動の中で地域環境や社会のさまざまな課題領域に対して、アートとデザインの専門性にもとづき分野を超えた構想力による新たなアプローチや創造的解決が求められている。こうした課題を対象として調査や実践的ワークショップなどを通じて、それぞれの専門性を高めるとともに、異分野とのコミュニケーション力および社会課題に対するアートとデザインの可能性を学ぶ。

#### 授業計画

フィールドワークや調査、制作などにより課題の分析および提案を行い、最終成果をまとめ、プレゼンテーションを行う。

具体的な課題、実施スケジュールは、オリエンテーションで履修方法とともに提示する。

### プロジェクト科目 B

2027年度開講・選択・2単位

Research Project B

担当教員

---

#### 履修制限等

履修希望者が課題の定員を超えた場合は調整をおこなうことがあります。

#### 授業の目的と到達目標（学修成果）

実践的課題に対して専門分野をこえて共同して取り組むことにより、調査分析力、創造的アプローチを見つける柔軟性、多様な人々とのコミュニケーション力を修得し、アートおよびデザインの専門性を高める。

専門分野が異なるメンバーと協力し、分野を超えた構想力を体験的に習得することができる。

#### 授業計画の概要

グローバルな変動の中で地域環境や社会のさまざまな課題領域に対して、アートとデザインの専門性にもとづき分野を超えた構想力による新たなアプローチや創造的解決が求められている。こうした課題を対象として調査や実践的ワークショップなどを通じて、それぞれの専門性を高めるとともに、異分野とのコミュニケーション力および社会課題に対するアートとデザインの可能性を学ぶ。

#### 授業計画

フィールドワークや調査、制作などにより課題の分析および提案を行い、最終成果をまとめ、プレゼンテーションを行う。

具体的な課題、実施スケジュールは、オリエンテーションで履修方法とともに提示する。

### プロジェクト科目 C

前期・選択・2単位

Research Project C

担当教員 金箱淳一

---

#### 履修制限等

履修希望者が課題の定員を超えた場合は調整をおこなうことがあります。

#### 授業の目的と到達目標（学修成果）

実践的課題に対して専門分野をこえて共同して取り組むことにより、調査分析力、創造的アプローチを見つける柔軟性、多様な人々とのコミュニケーション力を修得し、アートおよびデザインの専門性を高める。

専門分野が異なるメンバーと協力し、分野を超えた構想力を体験的に習得することができる。

#### 授業計画の概要

グローバルな変動の中で地域環境や社会のさまざまな課題領域に対して、アートとデザインの専門性にもとづき分野を超えた構想力による新たなアプローチや創造的解決が求められている。こうした課題を対象として調査や実践的ワークショップなどを通じて、それぞれの専門性を高めるとともに、異分野とのコミュニケーション力および社会課題に対するアートとデザインの可能性を学ぶ。

#### 授業計画

フィールドワークや調査、制作などにより課題の分析および提案を行い、最終成果をまとめ、プレゼンテーションを行う。

具体的な課題、実施スケジュールは、オリエンテーションで履修方法とともに提示する。

### プロジェクト科目 D

後期・選択・2単位

Research Project D

担当教員 未定

---

#### 履修制限等

履修希望者が課題の定員を超えた場合は調整をおこなうことがあります。

#### 授業の目的と到達目標（学修成果）

実践的課題に対して専門分野をこえて共同して取り組むことにより、調査分析力、創造的アプローチを見つける柔軟性、多様な人々とのコミュニケーション力を修得し、アートおよびデザインの専門性を高める。

専門分野が異なるメンバーと協力し、分野を超えた構想力を体験的に習得することができる。

#### 授業計画の概要

グローバルな変動の中で地域環境や社会のさまざまな課題領域に対して、アートとデザインの専門性にもとづき分野を超えた構想力による新たなアプローチや創造的解決が求められている。こうした課題を対象として調査や実践的ワークショップなどを通じて、それぞれの専門性を高めるとともに、異分野とのコミュニケーション力および社会課題に対するアートとデザインの可能性を学ぶ。

#### 授業計画

フィールドワークや調査、制作などにより課題の分析および提案を行い、最終成果をまとめ、プレゼンテーションを行う。

具体的な課題、実施スケジュールは、オリエンテーションで履修方法とともに提示する。